

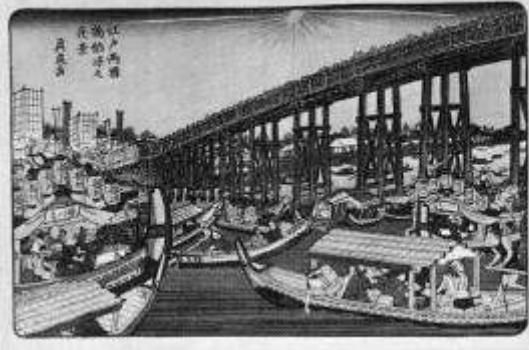
名所絵を描いた画家

(PaintersBr08.pdf)

溪斎藤英泉(1791-1848)



江戸日本橋より富士を見る図、酒井コレクション



131 英泉／江戸両国橋納涼之夜景
大刊錦絵



下に続く4コマの錦絵は、木曾海道69次の内、英泉の作を示しました。残りの大部分は広重が描きました。この分は安藤広重のファイルを参照して下さい。中山道広重美術館



木曾海道 1 番、日本橋雪之曙



木曾海道 11 番、支蘇路ノ駅・本庄宿 神流川渡場、
埼玉県本庄市



木曾海道 15 番、板鼻、群馬県安中市



木曾海道 18 番、坂本、群馬県碓氷郡松井田町



木曾海道 41 番、野尻 伊奈川橋遠景、長野県木曾
郡大桑村



木曾海道 52 番、鵜沼ノ駅 犬山遠望、岐阜県各務原
市

広重Ⅱ、Ⅲ



110



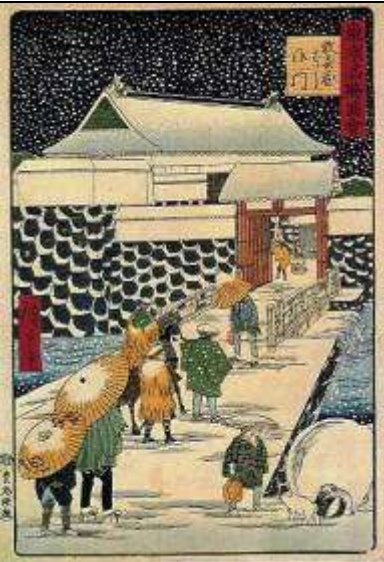
0249



0320



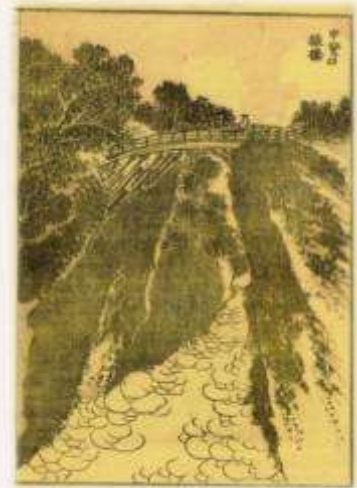
196



file0007



0008

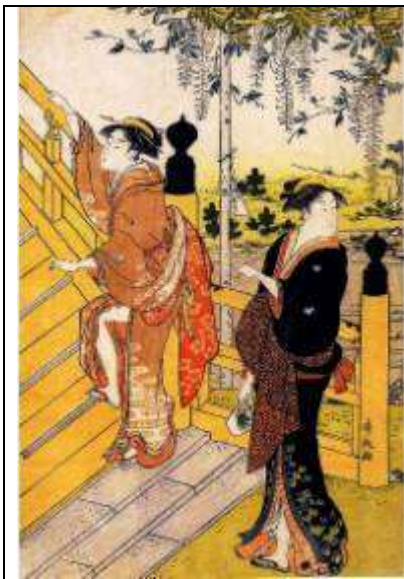


早朝の御橋 北倉橋上り 馬助北遊

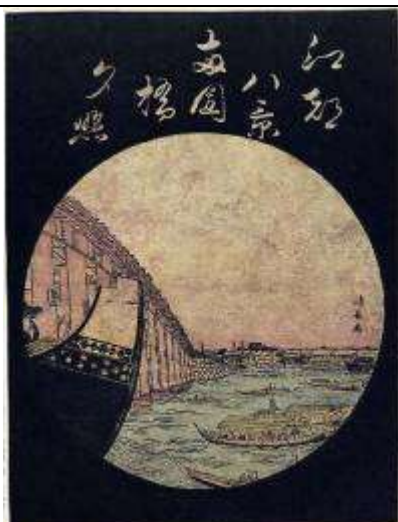


0134

鳥居清長(1752-1815)



001



002



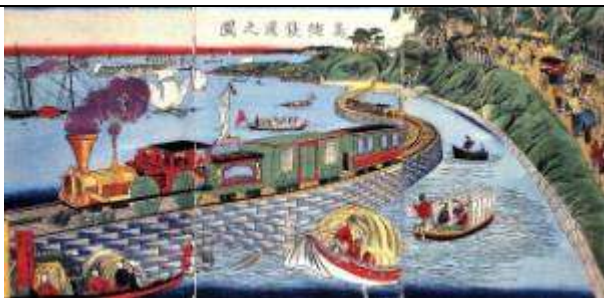
003



File0015

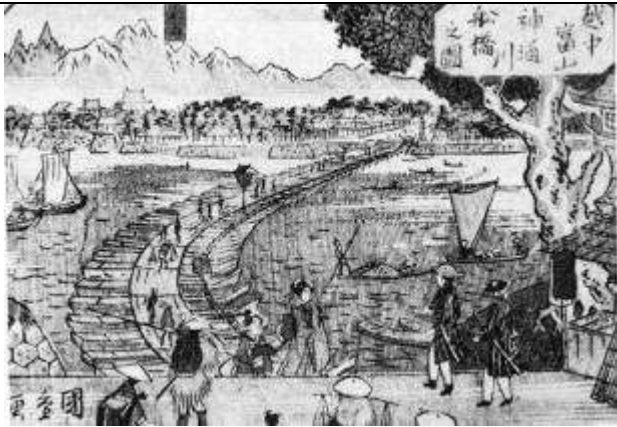


Pic1S099

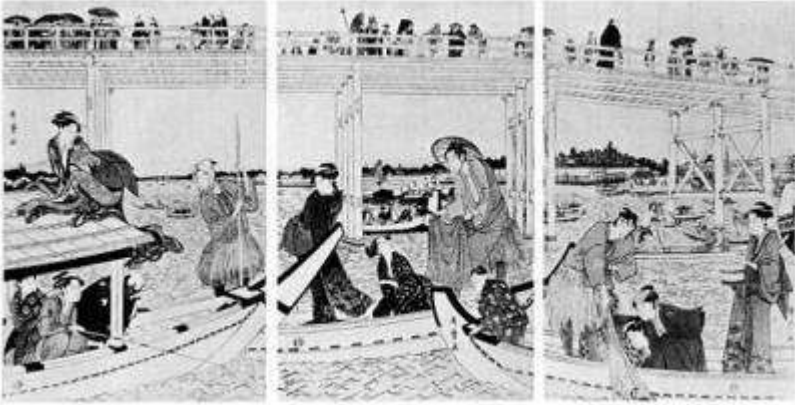


PIC1S100

国重



喜田川歌麿(1753-1806)



舟・舟
 四國橋下船舟
 大判錦絵 三枚続

歌麿—1



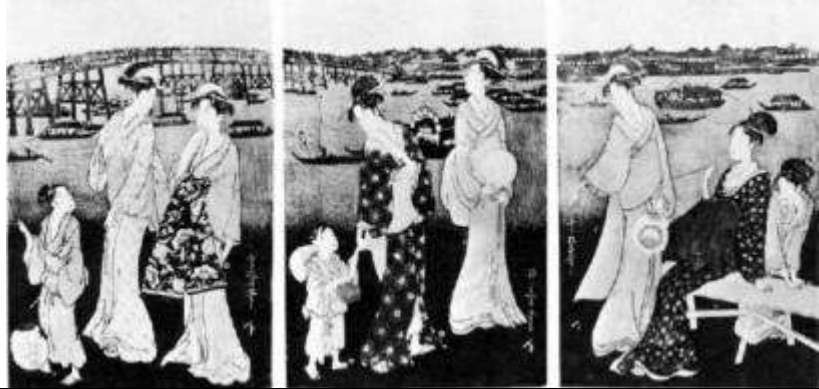
257



256



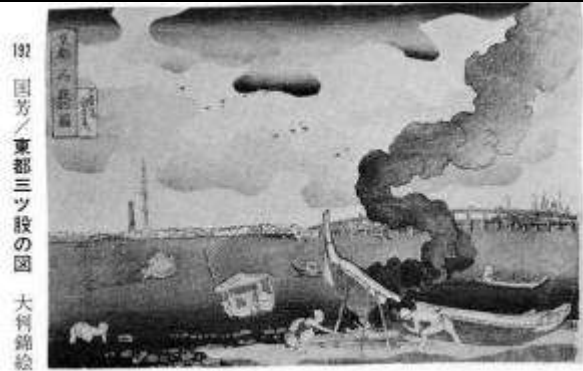
船・船・船・船 西園橋上・下 大谷錦絵 六枚組



国貞



歌川国芳(1797-1861)



182 国芳／東都三ツ股の図 大判錦絵



国芳／蛸の入道五拾三次・日本橋